

郷土系録

二

73

7091

2



A 22.9

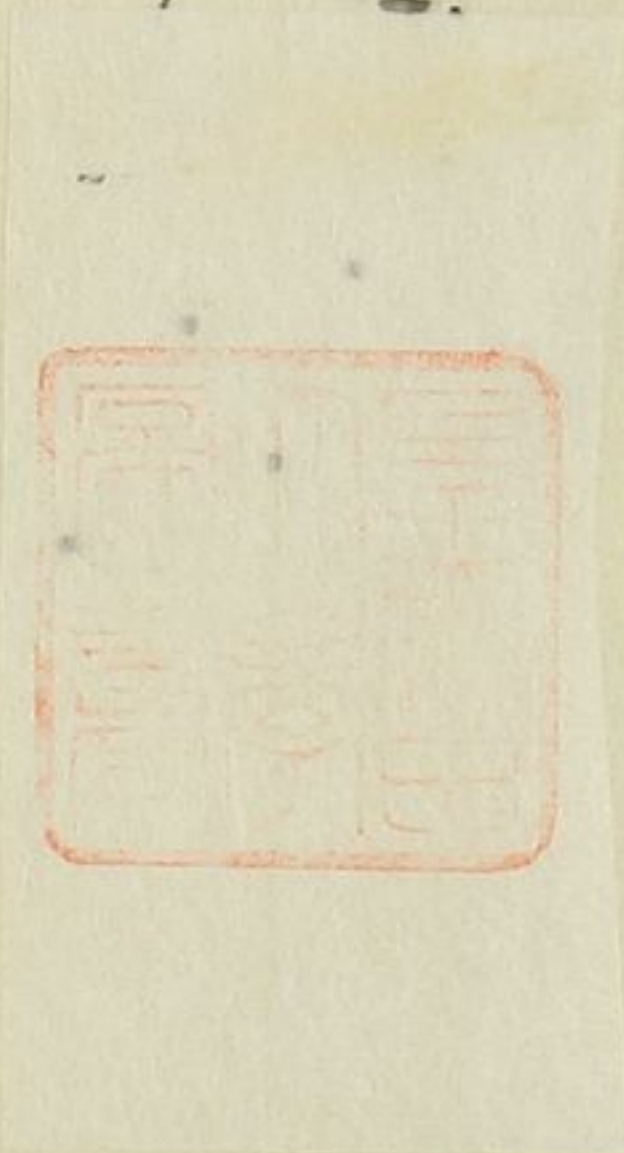
G69

2

73

7091

2



< 2000 - 555 >

88-978

鄉村令條錄卷之二

風俗

一 鄉村風俗之義其外清制茶其特異法條頁
一 清制禁私之民俗教諭之清違類屬

寛永三年

茶

- 一 公儀 清意遠いものうく一並ちりきり
- 一 きりりあしん宗門之者有て改訴人此定ことく由儀其下
- 一 為 令茶法清い義出信止りる若於お肯者有て改訴

一 大世なりは...
 一 竹本...
 一 獨身...
 一 手負...
 一 飲内...
 一 性爽...
 一 喧嘩...
 一 重於...
 一 丈傳...
 一 鶴白...
 一 古格...

一 稚子...
 一 淡砲...
 一 古之...

實永七年九月十日

日野新右衛門
 杉井彦左衛門
 丹羽少左衛門
 浅尾教三少

安達郡何村

肝葉百姓申

六精...

元禄九子年

光

一酒研ふあゝ其不届仕共粗方ゝ以爲るより大酒仕共信止
以天添以酒給以義人ゝ申候下り申
一客亦方ゝ以申も酒濃ゝ義之利之申

附酒和ゝ若方ゝ以申酒給以世共も下り爲成度申

一酒商賣仕共速ゝ減振下仕申

太ゝ在急度下申申於之遠宵下り爲曲り申也

子九月三日

元禄十四巳年

光

一自今以後酒酒絶ゝ以申人組切之形下り 信方

一当人々共其又

一組合共若人々共五百文也

此五人組の内各酒酒絶ゝ以申其方ゝ以申不速仕村等
方下り下仕方共組合共若人々共其形也其申申候方
申知り申下形也其方下候申也

己十二月十九日

享保五年

光

一在百姓方より出入仕之法教未ゝ義之府役人々共其内就
子以義共急申由法度共義共 候方申家申申出入候

一百姓所人々伊勢赤宮并熊野詣巡礼出園未三在出りし而後
二有云用云授岩飯の生に生降下り出、此條之上日敷に定六
考、其初年、若くは別生、外振来と信止り
太之色、信出、所、所、代、友、中、急、度、下、下、後、下

午十月

享保十九年

一

侍中同妻子在末、男女在、夜彼、己、六、年、日、前、已、其、分、決、
應、一、丈、也、定、沙、来、必、以、自、至、心、信、遠、子、以、武、万、遠、
有、以、振、抄、文、自、人、以、後、出、信、止、
一、中、行、一、日

戊七月五日

山園常右馬

享保十九年

一

子天出生、其、お、か、一、以、若、有、之、候、甚、不、仁、之、致、方、并、出、信、止
若、信、升、之、以、有、今、从、之、中、不、お、止、以、他、之、所、破、出、生、之、
我、子、之、報、
以、之、不、仁、
一、在、第、一、若、天、追、お、互、之、
二、波、若、不、お、止、
三、在、追、
諸、親、

密々、お背共及足方、を早速下所出、右に新法を以て、
上方も尚文出、備員とありたり。

太くは、任出、方一、任生、高、所、在、水、吞、玉、進、連、二、一、
後、の、を、立、出、了、又、人、帳、亦、不、絶、中、會、生、海、能、吞、込、根、
と、波、は、任、出、生、方、と、高、以、と、馬、達、西、段、根、是、又、一、
宮、五、月、廿、九、日

宮五月初九日

元文元辰年

是

一、田、領、分、中、百、姓、年、及、困、窮、新、以、方

上、了、し、法、為、 使、百、重、甚、不、便、 思、百、何、卒、善、救、渡、方、可
力、之、為、也、 佛、心、を、法、の、善、根、を、能、救、也、度、之、也、 任、出、也

力、之、多、及、横、法、任、大、以、良、別、由、不、勝、自、出、家、中、佛、如、未
出、任、分、也、之、り、も、多、由、佛、令、之、始、年、之、至、り、以、程、之、り、
任、出、之、分、取、納、方、免、令、之、減、出、救、一、と、年、根、也、之、根、又、生、令、
之、捨、置、以、任、之、百、姓、也、之、根、之、根、之、也、之、也

佛、任、意、滞、涼、切、 思、百、之、新、田、持、出、之、義、之、任、出、
任、代、中、之、生、方、之、之、名、之、任、之、波、合、也、百、姓、方、之、委、由、
中、會、而、之、由、勵、生、之、之、之、行、連、之、百、姓、結、也、也、之、任、後、任、
世、任、根、之、世、任、之、利、力、之、也、之、也

上、之、思、百、之、也、任、百、姓、也、之、之、之、之、任、也、之、也

一、古、來、之、代、安、中、之、民、万、水、世、之、山、林、田、畑、或、之、池、堤、川、除、或、之、
樹、木、亦、自、身、之、之、年、之、之、之、之、之、之、之、之、之、之、之、之、
任、新、田、持、出、之、之、之、之、之、之、之、之、之、之、之、之、之、之、

愈心方以臣職分、先勸、一力、今度、
一通、中、毎、年、材、役、人、大、計、は、但、ま、る、を、
思、召、論、見、不、お、ま、る、の、以、万、民、万、世、の、利、潤、に、依、る、を、
分、精、力、を、入、自、然、に、生、り、成、就、は、振、石、升、は、振、石、の、中、に、
有、る、に、以、り、勿、神、材、役、人、大、計、は、養、育、の、出、精、者、方、に、
立、下

一 辰十月

元文四年

光

若、は、信、出、年、所、在、を、若、天、婚、姻、の、良、道、共、仕、立、振、舞、
と、男、女、の、衣、被、音、物、未、止、し、口、定、方、に、以、上、未、至、生、分、に、
在、成、年、は、信、出、遠、肖、不、由、の、年、竟、所、在、方、に、衰、微、元、
在、未、成、年、は、信、出、遠、肖、不、由、の、年、竟、所、在、方、に、衰、微、元、
行、味、略、の、有、る、に、在、り、て、方、に、未、成、年、は、
行、尚、文、步、の、目、行、是、將、目、行、夫、に、中、分、後、候、未、成、年、
と、是、出、未、成、年、の、中、分、に、生、り、て、信、出、下、下、分、
一 九月

寛保二年

光

情、更、に、我、前、出、信、止、に、以、以、所、在、情、更、甚、暮、り、振、
不、届、の、中、に、何、亦、に、役、人、大、不、味、の、年、竟、而、
世、に、坊、之、集、に、中、に、以、条、法、以、未、成、年、内、材、方、法、
可、製、制、下、に、以、若、又、不、お、止、に、身、に、生、り、
若、天、集、

令之者不及中而後人為度是實數以上四仕金...
信丹之始又生京之將重。隨以役人有曲予之由州後下者
之始也

右之在江 信丹之方所事仍代安中 矣之 一之 行之下

國四月

寶保三亥年

光

一情更由制止之長教度也 信出時當去也信止也威信乃
也亦くけ予又く何方之情更波の若力くは也信度事肯不
届は之來急度一亦止は若事肯の若力くは也信至之由何
信下力くは若又何在之方在之塞かろく賣買の若力くは也之若

曲予の來檢の各之月一之也信候之也

一他而方情更波の若事肯檢の各之波信候事速之進出の
若信並振の若知の若急度一之也信候之也

右之在江 信出の方支配下何人而信在也之 一之 行之下

亥極月

一 所事仍中

代安中

延享元子年

之年在之結蘭并秋并出未は市日之度毎於之坊市市明之
中情更方之信須系蘭秋并賣拂上何令渡波の當也若元
太之代令之方上何也若事肯之在也信も若信一五年之月

位拔余之義十五丈已下六拾年已上之格例之中
位伊勢播磨号一太幣中合月々代末之義五只今止之
一不苦之中

一熟之在方之者万端之荒矣朱印物中安積所百姓男其
二風俗不宜奢者多々之振子者方々之昔々也 然其色之
波候約之食衣之也其米糶ヶ百石之義其仕万石之義也
不取用者もいれ代交中々急度一々下
太之振在方未々々者進能々々々合急度未々々振一々下

延享三年 丑正月

延享三年

一
光

所人百姓其之義法制法方之生上出市中々々之義

貨素を用い候儀 位出まゝの市年町立之者方内池生或取
朱印之妻子女に制止之義取用特平日昔方未々ヶ百
石未々ヶ百石以不届以急度一是比俵印天以度も用給
と申之方も未も愼分治不乱振一々下之者於不取止
当人を不及中町役人材役人其度中々々未々ヶ百石
一別紙に申出書方之儀 位出之申出文紙下村々々之儀
百姓出取急度一々下之儀其不及中平日未々ヶ
百石未々ヶ百石振出書方之儀能々々下之儀

延享七月

宝曆七年

光

次日之宣附波儀以名未々太由制止之儀位先年取度

明和九辰年

丑十月

門津邊之助

此 位中有力之者一且斗三月を経年を歷し此に生
も年為らぬ其れ年竟所在に生し其後人を生所は村
に有力之を制止する 勿論有力者有り今所役人
名も勿論平所人吉田姓なり 今有共生可憐な
風情も若く掛りて生共と捕りて其れ中より下出
若く余り人柄しり 居たも予人辨じ是等
大は依り下訴捕遠い其れ不苦の若く隠すも外は
生所村に役人若く其人追り人日最は味の上生取らむ
曲りなり

是

情矣と為す其れ以て行止らば条礼縁自ら切らざるに極
りし其れ極あつた也其極は予ら其れ其れに極多の人
痛人た有計なり其れ先年也 位中は今似不其れ極相お
等ら其れ其れ礼縁自ら切らざる勿論其れ其れ其れ人
形人た不其れ所在打上り其れ其れ情殊之也其れ所は其れ何
若く其れ大百捕り極し其れ其れ其れ其れ其れ其れ城下
中なり

辰八月

町奉行中

形意中

別紙に事記申上申す事は辰の酉の山又配下申す事
御下

八月十日

那事行

安永三年

光

富貴の事... 山信止... 山新... 山寺... 山富貴...
山信止... 山新... 山寺... 山富貴...
山信止... 山新... 山寺... 山富貴...
山信止... 山新... 山寺... 山富貴...

一、右に富貴に寺院... 山信止... 山新... 山寺... 山富貴...

山信止... 山新... 山寺... 山富貴...

山信止... 山新... 山寺... 山富貴...

己二月

那代中

那事行中

那事行中

安永三年

大月行中

壬午村... 虚無僧修... 山信止... 山新... 山寺... 山富貴...

美申至或七旅石下中根材役人杯下以石石不考
兼完之止若能来由中下以是生切之若合日若夫之尺八
步柳波之疾中其力之反中石西之玉之虚之僧修
波之志中其之施物之活中入之由附之一名下及所
之来虚之僧古所之不活之何方之生村方之括押也
之出代友若也新役不私私之管地既役不也其百連之出
美於中宵之材方一若城度之

太之在也利私社未不候根也解村之若写取村
入口之礼切或之材役人宅前若法至之

太之在也根材役人宅前若法至之
太之在也根材役人宅前若法至之

取法出定根材役人宅前若法至之

二月

和代中

所事也中

和事也中

別紙也其片之根材役人宅前若法至之本は方由是也其根以下
材之也其片之根材役人宅前若法至之本は方由是也其根以下

二月十一

和田太又

安永三年

涉候約之是

一 衣類布木綿... 信止...
一 男女衣類... 信止...

附生... 袖... 帯... 二... 帯... 綿...
羽後... 入... 止... 羽後...

一 扇... 無...
一 糸... 上... 履... 履...
一 長押... 切... 杉... 板... 後...
一 自... 信止...

一 敷... 甲... 用...
一 物... 婚... 汁... 菜... 之... 後... 長... 一... 切... 出... 金...

附... 札... 材... 目... 改...
一 芳... 信... 教... 子... 牙... 男... 智... 性... 西... 贈... 答... 一... 生... 一... 切...

信止...

一 山... 中... 史... 舟... 芳... 信... 也... 美... 子... 能... 子... 大... 舟... 西... 金...
一 祈... 禱... 信... 也... 美... 子... 能... 子... 大... 舟... 西... 金...
一 物... 也... 美... 子... 能... 子... 大... 舟... 西... 金...
一 右... 山... 信... 止...

午九月

安永四年

光

少... 在... 子... 酒... 造... 在... 用... 以... 美... 希... 也... 信... 止... 以... 享... 保... 二... 丑... 年... 以... 免... 注...
生... 也... 乃... 在... 子... 年... 樂... 也... 信... 止... 以... 美... 希... 也... 信... 止... 以... 享... 保... 二... 丑... 年... 以... 免... 注...
右... 所... 在... 尚... 人... 未... 及... 云... 生... 以... 換... 所... 名... 美... 希... 也... 信... 止... 以... 享... 保... 二... 丑... 年... 以... 免... 注...

右之通之故生急度一... 代有申... 尤幸神社
... 夫... 下

未二月

款代中

河車中

款代中

安永四年

覚

一決砲山停止... 役人... 下

以板村... 役人... 下

二月

安永五年

覚

山... 出... 入... 役人... 下

在東の者大不面... 材役人... 勤
 人柄... 札渡... 我... 是
 又... 材役人制... 上... 我... 若
 方... 代... 下...
 太... 急度... 代... 是...
 中...

申五月

那代中

町事代中

那事代中

安永六酉年

見

町立... 基... 材... 役人... 急度... 集... 役...
 粗... 信... 止... 材... 役人... 急度... 集... 役...
 性... 業... 材... 役人... 急度... 集... 役...
 制... 材... 役人... 急度... 集... 役...
 材... 役人... 急度... 集... 役...
 太... 急度... 集... 役...
 急度... 集... 役...

丙三月

依中管之書

依色源之書

安永六酉年

大目分

写之礼物名定茶或木片法至每月小百姓之至近者
讀抄受て下

西九月

右之通て下取解

右之通候 公儀此 任出方之候是之可也下下下下

代官申下下下下下下

西九月

那代申

町奉行申

那奉行申

安永六酉年

是

三箇月拾日之候是前より奥山信止之候此以月之候其は方之
概事より届日夕拾日人を勿御之候夕紙取候或は他市
夕拾日之候若共夕所人より進支之候度候 任出方御合
村役人有事候事此下所出之候是出候候 任出方
之候下下下下
右之通て下取解下村之候度下下下下下下

西十二月

中井角右馬
廣徳七郎右馬

安永七戌年

大目下

上米山苗地并是園共之書而若枚多波御個は取火并盜

賊も多潑愛為大方之世上一統之難儀。去年以年竟右
一二夜亦有之。無事共之。留主者亦被徘徊。不為之。依
之。所方也。勿漏。在在。所及。人。村。及。人。在。所。方。村。方。嚴。及
是。竹。味。の。事。と。提。も。方。の。一。夜。の。大。元。石。性。年。若。留
主。不。中。積。の。中。升。立。所。在。三。言。者。若。大。元。掛。の。右。捕。所。方。也
所。事。の。上。右。達。之。由。関。八。列。立。方。也。所。及。人。木。括。信。不。及
材。建。之。波。一。月。為。之。所。事。の。上。送。城。の。後。之。所。元。朱。若。之
若。若。大。元。也。百姓。農。業。之。急。了。所。人。を。夫。之。一。夜。世。之。不。及
乃。持。放。持。取。之。名。若。若。本。派。給。信。為。之。若。若。火。升。盜。賊。也
心。事。之。若。若。懲。一。め。之。為。之。夜。之。言。者。若。大。嚴。及。右。捕。信。取。之
持。取。之。在。所。在。之。言。者。若。右。捕。海。出。之。後。日。仇。未。被。信。及
之。交。之。若。若。本。の。方。元。子。休。才。右。捕。之。海。出。之。若。若。不。道。之。波。若。若

急度答一十升
太之延一言水師

四月

右之延長。之儀也。信也。乃。信。生。意。所。在。下。之。若。若。取。之
下。之。若。若。下。

戊申月

那代中

何事の中

那事の中

安永九子年

所在之商人。在。所。用。之。方。之。若。若。中。之。出。之。若。若。考。之。内。信。矣。

先年連旱、連急度、一帯皆為赤地、若拉方、人生若死、勿痛
之、養生所、役人、古道も、おれ、上急度、城、中、行、米、倉、遠
去、極、是、一、九、年、下

九月

那代中

河津中

那代中

天明三卯年

大目付中

大和園村、けん、と、と、常、備、僧、方、の、長、也、在、村、之、若、天、改、加、
振、令、海、と、費、自、之、農、業、も、急、一、統、困、窮、之、基、一、也、取、振

あま、前、之、方、寺、社、未、救、之、上、
不、惜、米、錢、一、切、改、方、有、り、り、る、る、
味、本、作、之、長、流、流、其、を、勿、論、勢、
中、山、若、流、主、の、方、持、取、所、を、
以、采、他、兄、未、良、扱、有、り、
山、科、を、也、代、出、形、に、
下

十月

太、
下

太、
下

移、
下

十一月

町奉行中
船奉行中

大目付中

色米而辨之隱江中ニ極途ニシテ蒙ル共數多ク有ニ其以要
厚ク共ニ紛ル方有ニ其有ニ在江中一角江中ニ其一切
中ノ方有

太ニ極寛保ニ亥年申解ニ其正以又ニ而辨之隱江其夙來
既申ニ極 歩以ニ其有ニ其有ニ其有ニ其有ニ其有ニ其有
而辨之隱江中ニ極 歩以ニ其有ニ其有ニ其有ニ其有ニ其有
此ノ其有ニ其有ニ其有ニ其有ニ其有ニ其有ニ其有ニ其有

此ノ其有ニ其有ニ其有ニ其有ニ其有ニ其有ニ其有ニ其有
十二月

太ニ極 以後ニ 信出ニ其有ニ其有ニ其有ニ其有ニ其有
船代中
町奉行中
船奉行中

天明八申年

船代
町奉行
船奉行
代官

太乙の如く上席三日演言の光

河直之若夫連く後之長く其後若法振来本所人百姓不似答
其執中婚礼の前後志莫廉とて一太若ケるも其後有力
此若多事又其の身去宮年急度侯約一其若ケるも其後有力
不取止既旧編唯所村の姉妹日村長た子仇吾若縁
此不借抄其の長百姓不似合分分の員とて其の各月市
中川肆の如く其の身去を不取若夫若ケるも其後有力
此若ケるも其の身去若夫若ケるも其後有力
貨若ケるも其の身去若夫若ケるも其後有力
立房の侯約の如く其の身去若夫若ケるも其後有力
所人百姓若夫若ケるも其後有力

別之若夫若ケるも其の身去若夫若ケるも其後有力
年之内凶能の如く其の身去若夫若ケるも其後有力
此若ケるも其の身去若夫若ケるも其後有力
其村を汝離散終る迄其の身去若夫若ケるも其後有力
此若ケるも其の身去若夫若ケるも其後有力
凶年之如く其の身去若夫若ケるも其後有力
凶能今も其の身去若夫若ケるも其後有力
其の身去若夫若ケるも其後有力

一若夫若ケるも其の身去若夫若ケるも其後有力
此若ケるも其の身去若夫若ケるも其後有力
其の身去若夫若ケるも其後有力
其の身去若夫若ケるも其後有力
其の身去若夫若ケるも其後有力
其の身去若夫若ケるも其後有力
其の身去若夫若ケるも其後有力
其の身去若夫若ケるも其後有力

公矣、長く、無事、付、主、子、を、托、一、按、即、名、を、不、願、い、
 乃、然、清、年、若、天、之、美、早、竟、也、制、林、也、を、以、治、こ、不、お、希、有、之、中、
 表、方、の、方、先、付、度、を、生、分、に、用、捨、い、ま、未、未、あ、之、若、大、才、一、侯、
 約、を、書、せ、下、之、後、い、何、人、百、姓、大、に、陳、分、教、を、施、し、根、一、と、申、
 升、に、生、上、を、分、外、に、受、力、を、以、て、他、道、も、か、お、存、之、各、所、下、後、
 付、方、か、一、と、申、也、方、

一、郷、土、夫、と、名、有、性、之、若、在、分、外、に、夜、合、を、始、也、若、も、万、之、有、
 之、の、後、有、為、山、傳、自、も、力、を、以、て、其、方、性、之、得、之、分、外、
 之、夜、合、を、不、お、承、了、り、之、を、以、て、法、を、受、取、お、承、之、以、後、遠、之、根、
 一、と、申、會、を、力、使、之、若、之、内、括、働、其、方、也、之、若、を、托、之、何、
 事、形、代、也、申、一、也、何、出、候、奉、信、約、御、之、長、河、内、土、事、一、若、也、
 時、之、後、申、方、根、一、と、申、也、

一、若、も、員、被、英、會、を、始、之、り、若、も、人、情、之、以、後、生、分、重、踏、之、後、道、
 尚、法、を、托、也、之、道、理、之、早、竟、子、孫、之、為、不、承、了、り、之、分、有、
 性、之、若、天、之、以、後、遠、之、根、一、と、申、會、

一、山、内、河、内、五、隅、也、也、山、内、道、道、形、而、後、約、御、自、然、也、之、若、也、
 之、中、七、才、一、段、毎、一、段、之、河、内、五、隅、困、窮、之、実、を、察、熱、後、上、
 括、働、今、之、一、と、申、不、承、了、り、之、中、之、事、を、以、て、承、了、り、之、分、外、
 申、之、以、後、也、

一、佛、代、也、代、了、年、也、佛、之、以、後、若、流、行、也、之、未、也、不、承、也、根、何、
 之、也、之、名、を、河、内、之、若、也、河、内、形、也、在、方、之、中、也、代、君、申、也、
 太、之、心、地、を、以、て、形、也、申、中、也、中、後、之、之、存、外、使、
 一、侯、約、之、事、を、大、凡、之、事、也、大、若、之、有、之、費、と、あ、き、其、法、の、以、後、
 之、之、根、一、と、申、之、以、後、之、事、を、以、て、承、了、り、之、分、外、申、之、以、後、

我信米穀の如き自然に盜り巧み悪くも生じ生身と
 害する米穀の如き教不修の如き市中に若く
 生高賣不怠百姓の時益々耕耨田畑之働中括り
 領内並お流りしりたは上り又教を施し一に
 一去年年中連年運賃約りる若く又を拙り
 有るは其れは賞罰にて
 一太中車に預けられし方と云ふも其れ生身と
 有るは其れは
 一今日中車に預けられし方と云ふも其れ生身と
 有るは其れは

所至に其連の修り方風俗若昔より年地気不熟及種

穀の如き自然に盜り巧み悪くも生じ生身と
 追つて此の如き風俗立居り修り方若くは其れ生身と
 物所人百姓に不似合修り方及困窮に
 修り方若くは其れ生身と
 此の如き不修り方不修り方不修り方不修り方
 貨物若くは其れ生身と
 一若くは其れ生身と
 一檢り方若くは其れ生身と
 若くは其れ生身と
 何れに其れ生身と
 生身と其れ生身と

大に連日生之河生之若下不候振之為斗也代在中
下中會下

二月

形代中

河車中

形代中

村々各々村役人下中談ケ糸

一卯年凶絶後村々貧民中多色分、出用捨も法取も以米
立事、以共之、毎年貧民お宿の儀、難儀之様中、立
月、中早貴役人、大教戒、不形、而、此、有、風、俗、而、為、善、方、又

汝、他、以、飲、食、有、彼、之、委、不、止、農、業、勵、務、方、出、用、捨、之、以、以、為、
不、立、事、以、方、之、以、如、之、年、之、貧、民、中、立、亦、已、お、宿、之、以、
出、用、捨、一、下、振、也、之、以、之、中、立、也、不、取、上、之、方、在、以、以、之、村、方、一、統
之、難、儀、之、由、來、有、之、以、役、人、大、為、之、生、心、以、汝、百、姓、方、不、候、振、中
會、教、戒、之、一、加、以、當、年、之、中、立、也、已、分、以、以、
出、用、捨、之、以、以、出、用、捨、之、以、汝、以、若、下、也、文、之、以、汝、能、之、以、
若、下、也、中、會、一、日、お、宿、之、以、立、也、振、心、是、下、以、以、之、後、在、出、用、捨
中、立、也、之、年、汝、一、下、取、上、以、若、之、以、汝、方、之、立、也、之、以、若、也、其、也、其、年
之、不、立、也、之、年、汝、之、以、以、若、之、以、之、以、以、振、出、捨、之、汝、之、年、汝、之
城、之、不、立、也、以、以、以、捨、中、立、也、以、以、
一、只、今、追、取、年、出、用、捨、之、以、若、之、以、内、當、年、方、之、以、以、若、也、以、以、
大、之、若、下、也、文、出、捨、之、以、振、心、不、候、振、之、汝、之、以、以、其、秋、方、之、以、以、立、

事除く者も有らん年救出用捨せ給く者不救除給新
中立者出利捨せ給らん方生る給せ給く村方一統出救
引後引振取計せ給らん

一百姓方困窮の上より後振もせしむるも昔も有らん
不仁村共習より一悪友有らん人たし物捨も享保交々
此近を百姓方より合利役引振り云物も交々せし人足出共
も苦者麦種よりそのもの持来る焼飯代り利は今関
東毎々太く是れおん是れを能くお年い苗時妻も不存
義も太く一集る子を知り随分とせ付候妻も一後い出村
苗村より振子も熟見れ善方里友者も下給かかお
利は振おん心より一妻云物より一太作の義は振
急度下り付候

一昔方農業の働を一月早五日にお立至る百姓大は能
年い出給て後一月三日の内と善い時を秋九時迄と申日
にお立至る十五日飯計方より是より早五日にお立至る男
女は子供が世に出耕化を励み善方と男と縄と女と一茶
履を化し女は帯をさし給てさし給てさし給て男は一茶
履の九時より初休下は是昔にお立至る百姓方と授め
百姓方困窮及は農業不精飲食一妻方起り給は授
てお立至る交々貧窮にお立至るも一貧窮にお立至る者も
為三年中一立至るより疑い無らん生るるがいかい生る
妻子出り給て迷ひ給お立至るより海に歎ぬるも能
は道程を百姓大より一合利振り給らん
一在在家流の人扱と立農業お年一取立と下り給

在り申し給ふ事由下り申す者有るに候自今或は下り申
出材の時迄不拍自今申し文取下在方折く在出材時
之者有る時出材之振子檢尺下在方折く在出材時
人等申付候事外申す之序を以材方打申す之振子出材
之振子取置農業之振子不來振下下合子
一之ケ村切生材之仕也申す者有る方夜中一勵申す是出材時
以振子一方之振子材役人太夫候之上申定下下
太之在申候方又存候者有る申す之趣下下申す下

申十月

天明八申年

大目付下

情斐然^{カケ}之法務負前出候度、以是年一統お池情斐然

之振負亦之義也、右目付下武家御前社又之業在并
此亦あて太休不情之義取以振事方、之来太休之義有
之候之急度下下申す此候候上正合之先之近も言判給
お礼仕下下申す太休不情之者有る
下所出之急度由儀候日取之内た下所出自分之目録之
も於お取之是又申す之候
太之振所在下下法在在方之言礼切又之材役人宅上法在
所役人材役人申人組切之合申下下武家御前社
兼其之御座之之近之御所申下社候未所申下不候振
下之振解
太之在候 以後申 候由下下候事内申下之申す
止之下下申す下

申二月

大目付中

右ノ邊中來ノ所可立トシテ又ノ下ノ付ノ根下ニ五斗以下

二月

郡代中

町奉行中

郡奉行中

寛政元酉年

此乃在在方不抜ケ無シテ其ノ有リテ取付ノ風等ノ右ノ如ク其ハ
兼多也信止ノ方村役人ナド制置セム所力也其ノ爲メ存
以テ其方又急度ニ下ノ付ノ付ノ付ノ遠ニテ根出所付下有リ也

内ノ方其保ノ爲メ有リテ其村役人等初急度城度ニ下ノ付ノ來
付候丈ノ下ノ付ノ付ノ

一 於寺社古殿ノ保本等ノ根急度ニ下ノ付ノ其内ノ
此等村役人等保本等ノ根急度ニ下ノ付ノ其内ノ
其不在候事ノ御難事立出ルル事一ニ下ノ付ノ其内ノ

四月晦日

中津 郡
榎本次郎右馬

寛政元酉年

光

一 所在ノ其ノ役ヲ勤メ其ノ方法役人等ノ音物ノ爲メ存
止ノ以テ其ノ保本等ノ根急度ニ下ノ付ノ其内ノ
根急度ニ下ノ付ノ其内ノ

災福に不測之朱サカ損細く云う大旨目と費奇物心ならず、
勿論証云に能く物物たる事も奇物也言用之りて中下子

但所至る物に役を勤む者有法及人の中上奇物有
る本又之極を奇物文則之極之役方中在

重々々

一 在方名と云う内その太方物支度出来兼、若く自然に重役
に而く若く方上物に能く収む物也、同年礼に不取、
位に振合お其失礼にりて、年竟て太方物に支度出来
兼、若くお其らる奇物に、色中下然と云う、向後多分奇物
お勤む極、一りて中下子

一 在方名と云う子大本人に、後役而四足物捨免来、此を親
く是を幸、後居日極、お心付城下也、不取出足方、子大斗

移出、其方、極、お方、之、来、親、之、用、能、お勤、子、大、足
勢、以、一、通、お心、付、振、下、付、子、
太、之、色、中、下、來、方、極、生、忘、也、又、代、方、中、下、も、中、下、族、之、一、り、
下、下、

三月

船代中

河車中

船車中

寛政元酉年

大月付

一 在方名と云う、拂り、之、重、菓子、故、而、後、一、段、言、用、以、是、近、梅、

一 糸天止下下

一 火車羽織段中結構之糸一及び月并所方火子切纏湯箔
之糸用ひし下万あり

一 能装束甚結構成も其糸の方向後注ぐ一及び糸女之装
大造之綾物縫物之糸用ひし

一 大造之草蒲甲刀之糸一板之糸合張か糸物糸向中万あり

一 雛籠もてあそび人形之籠八寸以上一糸用ひし下下之糸を
麻持之糸入るん其装束を不苦く

一 雛道具梨子地も勿論海苔給之糸段下之糸用ひし
一 襦袢かかかん下下之糸合張を不苦く流敷電甲も大造
之糸も不苦く糸目三

細工入張之糸用ひし

装信止下下

一 糸止り其糸の糸は日並之糸合張をひし下万あり其装束
糸結構段万あり

一 大造之糸急度下糸用ひし其糸物糸持中万あり其享保年中
下下之糸又下度及下大造之糸

一 仕入之糸当年張之改賣買朱成年糸を其糸用ひし其貴買
下下信止

名所方りも其糸用ひし其糸物糸持中万あり

乃三月

大造之糸向ト下下下

大造之糸位 以儀也 信出下下其糸用ひし其糸物糸持中万あり

止又下下下下下

大目付中

太之通中 甚之方 始生之 所 在 也 夫 一 言 中 解 下

形代中

所 在 中

形 在 中

寛政元酉年

是

左之通從 公儀也 信出方 為心 故中 達至也

大目付中

始之立方 有之 賣女 古來 方 出 免 又 去 年 久 矣 故 之 子 在 重 也 夫 別 格 深 賣 女 之 案 始 至 中 万 為 心 以 止 未 根 未 取 賣 女

辨之 其 指 至 且 假 中 方 太 升 自 加 村 方 風 俗 不 宜 農 事 之 怠 之 方 在 止 及 衰 微 離 散 之 者 且 故 出 身 且 不 宜 者 也 立 賣 女 之 案 之 方 自 今 深 賣 女 指 至 中 万 為 心 若 深 之 立 外 方 亦 嚴 以 其 生 活 之 役 人 在 止 愈 矣 之 上 急 度 由 仕 至 一 夫 修 行 以 方 出 科 之 其 所 之 由 代 安 和 故 之 地 以 古 社 以 不 淺 根 嚴 矣 一 之 中 升 之 由 代 安 和 不 宜 之 他 以 心 也 升 以 上 若 深 一 之 案 其 方 之 其 再 速 百 捕 一 之 中 升 之 新 規 賣 女 賣 買 之 案 之 再 不 中 古 來 方 有 來 之 分 也 其 文 減 根 一 之 中 升 之

八月

形代中

河津の事
郡奉行の事

寛政二年

是

去、卯凶他後百姓大一統農業出精、秋、春、夏、秋、冬、
續五穀實の、且去秋と米穀物別と及下、
之を耕他お急、若もて、
々々刺農子もお励、
風を、
若も、
味、

各、
可、

- 一 名、
- 一 米穀下、
- 一 在、

共々屋敷夜夜答抄未夫、所上ヶ下戸兼為ら、生心此二後、
一也本名をた、内分所、改家他の共有力、本随い、夜夜會抄
も本名ケ万友子、と書方、一材、妻をもお制辱く共、生心等
本伴、之義者、辰不面、之、自今、以後名を、本名ケ万友
子、お方、と書き、答下下、付、夜夜定修補、之、共、不、本名
太、本名ケ、之、共、本名ケ、百姓天村、並、た、つ、建、形、内、人、殺
不、夜、之、少、言、本、抄、之、共、之、竹、條、之、上、中、付、方、有、之、本、名、代、有、中
急、夜、一、下、之、倫、約、向、之、義、實、申、五、年、お、後、之、建、書、并
演、説、書、書、又、法、夜、熱、讀、夜、之、也、
信、判、
沸、極、之、本、立
一、第、書、之、凡、不、本、所、振、下、之、掛、合、夜、食、之、宜、之、好、之、是、之、旁、之
厭、以、以、吾、人、情、之、以、方、也、之、之、女、之、夜、主、之、之、本、名、後、之、流、困、窮、下
波、子、眼、前、之、以、兼、農、子、之、急、之、本、名、之、好、之、本、名、之、共、代、有、中、之

用於下下之書又節夜熱讀之上子之仍の振下之之及計下

戊二月

那代中

河草抄中

那代抄中

寛政二戌年

美

所在と拘り、夜夜、之、夜、夜、之、
任、付、之、夜、夜、之、夜、夜、之、
不、所、之、も、所在、之、共、在、方、書、物、お、有、之、也、
舟、物、中、
あ、之、分、出、入
本、抄、之、共、之、本、名、ケ、之、後、書、物、之、文、納、族、之、方、之、本、名、ケ、之、振、書、物、之、夜、夜
之、共、之、本、名、ケ、之、不、可、之、之、本、名、ケ、之、本、名、ケ、之、本、名、ケ、之、
所、之、
而、之、
大、本、名、ケ、之、本、名、ケ、之、

仕万後るは度ら 仕万るり

似生何く夕家内之若くは名を付お送り若たもありし生

取文仰而しも有る振お方へは吉物之名と考へ而

已る実を日振るるりら万家内之如くは吉物

文仰るは吉物と考へ

太く色くは生念出中へ而し是くは中下下

大目付中

太く色くは生念出中へ而し是くは中下下

考たりも太く色くは生念出中へ而し是くは中下下

内にも考物望仕万後るは度ら 似生何く夕家内之

似生何く夕家内之若くは名を付お送り若たもありし生

中下下

七月

那代中

所事印中

那代印中

寛政四年

山家申婚礼或は葬式に初所立に考物根に刃物は坐石作法

に候方より振お方不届り申し候は末太作の如遠云く振換り

名を付中合意を振お方候は

子七月

所書の中
形書の中

寛政五年

是

一 正来百姓田地厥以眼前之小利、扱小高未作、若粗末、村
分以之、若大之、取地有之、取箇々、格別、以用、於、事、下、以、終
年、貢、法、役、在、之、村、百、姓、僕、多、有、一、日、及、難、或、添、坊、事、最、
了、以、是、未、之、或、名、之、村、役、人、考、其、利、之、後、每、以、以、以、以、以、
以、左、上、地、在、村、行、際、も、不、取、以、以、以、以、以、以、以、以、
別、在、村、行、村、方、之、名、之、役、人、考、厚、田、稱、答、之、事、下、耕、作、事、
上、地、不、在、村、水、吞、百、姓、多、高、賣、未、取、極、以、共、多、村、之、名、之、役、人、大

其利無情、否、取、以、急、度、答、之、 任、以、事、之、以、以、以、以、以、以、以、
以、以、以、以、以、以、以、以、以、以、以、以、以、以、以、以、以、

太、之、扱、之、以、以、以、以、以、以、以、以、以、以、以、以、以、以、以、以、
以、以、以、以、以、以、以、以、以、以、以、以、以、以、以、以、以、
以、以、以、以、以、以、以、以、以、以、以、以、以、以、以、以、以、
以、以、以、以、以、以、以、以、以、以、以、以、以、以、以、以、以、

丑、月

形、代、中

形、書、中

寛政五年

正来法浪人、作、之、共、村、之、以、排、個、年、差、之、百、姓、大、風、俗、之、所、

本郡に安んずる方之候事、碓氷郡中出之浪人、大に所
之者あり、其村に指立り、勿論、捕獲あり、未密、
本備之候事、其生共指押、並あり、中出、若尼、遊、
他、
方、本郡、其、生、而、役、人、大、に、指、成、成、
右、之、遊、之、生、意、代、書、中、之、事、下、
丑八月

丑八月

郡代中

郡代中

寛政六寅年

大目付中

情、要、然、捕、獲、之、事、前、之、分、也、制、禁、之、分、今、以、不、取、止、情、要、又、也

紛、發、然、之、捕、獲、改、共、有、之、候、事、方、身、之、事、也、所、以、捕、獲、之、事、也、
而、其、之、事、生、也、也、代、安、上、合、之、上、指、圖、改、事、生、任、重、一、事、
并、他、之、以、合、之、勿、論、生、任、之、事、合、之、事、也、互、之、捕、獲、之、事、也、
一、事、并、之、事、小、給、之、事、陳、成、之、事、也、亦、未、也、不、指、重、之、事、
之、社、之、事、也、村、役、人、之、家、事、之、事、也、亦、未、也、又、也、也、代、安、也、
本、事、以、不、成、也、也、代、安、之、事、也、亦、未、也、之、事、也、捕、獲、之、事、也、
右、之、遊、之、生、意、也、又、嚴、重、之、事、也、
右、之、遊、之、事、也

寅六月

右、之、遊、之、事、也、以、候、也、長、出、之、事、也、生、意、可、在、之、事、也、若、尼、也、
之、事、也、

寅七月



那代中
町中
那代中

寛政七年

各庄下村之々其之内新之節力、家多之由、并是役、
節ト新書指出其方、力之由、自分方トも内言不申
新書未指出其方、式之舟、右ノ新帳、此ト新帳、
此自分方、其同、後書舟指出、根一、申舟、名、先、
一通、申、新書、又、は、月、之、由、自分方、
指出、族方、族方、方、方、方、方、方、方、
内言、何、後、新書、指出、根、下、村、之、能、一、

新書

太之延天、七、未、年、及、出、年、之、由、是、来、又、之、由、遠、有、之、也、各、節、
之、も、也、何、舟、方、方、方、方、方、方、方、方、方、方、方、方、
下、村、之、由、之、舟、舟、舟、舟、舟、舟、舟、舟、舟、舟、舟、舟、

卯三月十日

三津惠在
上田 昭

寛政七年

光

去、卯、年、大、凶、使、之、初、山、内、村、一、統、お、最、以、後、
市、上、丈、之、由、故、之、来、下、百、姓、之、農、業、出、精、致、方、之、
之、用、以、在、續、以、在、之、年、之、追、之、立、也、之、由、未、以、前、之、
以、振、舟、市、上、方、之、村、之、言、之、失、隊、之、由、之、根、之、

采折の制條を以て 行出は五之年之末未だ應に他
亦續少頃を實素の風俗又にお流 亦之實分外之文友
概非未改の者も有之振おけり又八田柱濯^{ツリ}の号の地芝居
辨之義古儀の者も有之又之答節も此 行すは未
尚更矣後之風俗不お止方不不似合控無^レ方未改
以若共於有之者苗人并村役人た之勿論^レ之義而之者村
方はも之急一^レ中^レ村^レ采^レ役^レ人^レた^レ不^レ改^レ村^レ内^レ之^レ者^レお^レ互^レ
ふ^レ上^レ村^レ制^レ止^レ之^レ加^レ太^レ体^レ之^レ義^レ不^レ出^レ來^レ振^レ所^レ計^レ一^レ戸^レ以
太^レ之^レ振^レ之^レ終^レ生^レ之^レ以^レ之^レ配^レ下^レ村^レ之^レ急^レ度^レ之^レ中^レ候^レ以^レ後^レ者^レ更
實素之風俗不お流振^レ之^レ以^レ之^レ計^レ一^レ有^レ之^レ下

三月七日

成田又八席
三津五左之

寛政七年

於在^レ基^レ將^レ基^レ或^レ之^レ言^レ然^レ之^レ儀^レ負^レ有^レ之^レ振^レ粗^レ者^レ又^レ出^レ信^レ止^レ
情^レ爽^レ之^レ勿^レ論^レ太^レ体^レ之^レ法^レ揚^レ負^レ百^レ姓^レ之^レ家^レ業^レ之^レ妨^レ害^レ成^レ以^レ
之^レ付^レ案^レ之^レ制^レ禁^レ若^レ後^レ儀^レ之^レ村^レ役^レ人^レ亦^レ不^レ在^レ制^レ之^レ苗^レ人^レ
之^レ勿^レ論^レ村^レ役^レ人^レ追^レ中^レ觸^レ言^レ之^レ以^レ之^レ以^レ右^レ揚^レ負^レ村^レ之^レ而^レ
在^レ儀^レ之^レ振^レ者^レ之^レ年^レ竟^レ村^レ役^レ人^レ之^レ制^レ方^レ卒^レ忽^レ存^レ之^レ義^レ
在^レ是^レ以^レ右^レ外^レ方^レ之^レ若^レ村^レ之^レ者^レ上^レ之^レ改^レ竹^レ味^レ之^レ答^レ之^レ以^レ右^レ村^レ役^レ人^レ之^レ
之^レ言^レ用^レ急^レ度^レ之^レ制^レ以^レ振^レ能^レ之^レ一^レ戸^レ中^レ村^レ之^レ下

卯九月十九日

成田又八席
上田 唱

寛政八年

光

七

火事場と見物ヶ方共出消防水降る事未分新敷知合
方ト為見并五城に其屋敷トカ五城防之指水降る
七捕り次第に以て先火元と不仕遠ホカ五集に或方
百散りしに若し以後仕遠ホカ五集に集るに在消防又
仕仕来之妨事未分おろそ火事切出役之者未分
取之者百捕り根一役辰中候事、万敷未分、此も心
以遠之に根急度下下

十二月

太之延候 上候事 仕出方於江戸表申上事、以先
当又此事申之而、為心候事、一申申上事、下
辰三月

大目付中

太之延中申上事、方所在、若夫、為心候事、一申申上事

取代中

所申上事

取申上事

寛政八辰年

大目付中

情事之義、若くは嚴密に制禁、以て其来一統に候、取粗事受
所在役人、大制方、有之義、事不届之申、以て早竟、右件
之義、不届之申、所在困窮、基、以て其来、其制、以て
後、不届之申、若くは、事速、一申、申、根、方、於、申、所、在、村、役、人、在、上

勿論此合在正登一十行中
一所在夜彼家絶婚姻者前より山條自も力も書又天照三宮年
歳前中在事より是又之来一統古後、板粗書又不而、之
以前条は板歳前古制一十行に後不坊、若く之、之度登り
中行中

丙午月

郡代中

町奉行中

郡奉行中

別紙出達書、板山多分材役人并百石以上の出出、一十
成、若く若大材元、其為り、名之定、一十月立合、上熟百姓

大下中後文中、不抽出、板一十中、是近、夜、出達、若く
出達、板之末、近、吞、上、若く、板子、以、方、は、及、之、多、分、山、目、合、方
出、出、計、之、末、近、も、行、届、け、之、後、出、制、禁、之、条、不、出、後、板
石、計、之、末、近、も、行、届、け、之、後、出、制、禁、之、条、不、出、後、板

一五年別々、情、英、流、行、波、能、中、市、場、の、材、方、之、毎、市、市
々々、必、素、道、去、花、ホ、之、情、英、古、儀、之、方、以、方、町、是、將、英、元、出、板
ホ、力、之、場、前、之、太、作、之、美、之、世、以、竹、味、及、板、出、石、計、一十、行
一、方、之、生、外、材、役、人、在、之、定、末、不、出、材、内、出、上、竹、味、及、板
一、之、一、行、風、守、不、出、切、而、之、石、計、一、代、之、抽出、石、計、之、一、
板、有、之、方、分、之、深、密、方、之、若、杉、之、若、上、若、板、之、板、石、計、一、
一、組、合、之、若、大、中、合、若、互、之、若、改、不、坊、之、若、之、若、速、一、十、由、板、之、
一、十、行、一、月、若、之、内、之、大、所、出、自、分、之、回、若、之、若、若、改、之、若、之、

午二月
郡代中
町奉行中
郡奉行中

別紙候 公儀出勘定申込有レ以色無當居込不レ若夫
不且為申及之候及申及之候方之申不其申不其速百捕
下申不其若夫申及及急申捕方之申若夫申
申出候下及申尙申候内申申來申之申申申申
申之申申申申申申申申申申申申申申申
申申申申申申申申申申申申申申申
申申申申申申申申申申申申申申申

名中記 一 下申申申申申申申申申申申申申申申
之申申申申申申申申申申申申申申申
申申申申申申申申申申申申申申申
申申申申申申申申申申申申申申申
申申申申申申申申申申申申申申申

午二月
郡代
郡奉行

寛政十一年

於在 申申申申申申申申申申申申申申申
申申申申申申申申申申申申申申申
申申申申申申申申申申申申申申申

山

古勿論生かとも風我悪後旅商人或を河原物交の互入す
り敷に杜典よりぬるを足智以自然に耕能を怠り
分して荒地多困窮に由り生果を離散の基も成る
以る古に決すを能く并に根を心して依自今以後杜廢す
弄收洋猫隔踊之類也其是而根之人集案一府制禁
今度古に色を解し上も其於お止す言用於急度各下
有る

古に色を解し上も其於お止す言用於急度各下
有る

未六月

古に色を解し上も其於お止す言用於急度各下
有る

古に色を解し上も其於お止す言用於急度各下
有る

未七月

郡代中

郡代中

郡代中

寛政十未年

古に色を解し上も其於お止す言用於急度各下
有る

古に色を解し上も其於お止す言用於急度各下
有る

心所付く方々下

未八月十二日

成田又八郎

三津恵左衛門

寛政十一年

光

一山内村、森修、自備、根前、右進、此、信生、中、在、
重、信、天、子、来、主、又、中、後、下、意、此、取、又、草、未、七、指、布、
お用、共、も、月、力、成、お、先、早、竟、あ、り、一、お、止、在、生、
好、き、共、生、嫁、娶、之、儀、も、不、成、已、夫、お、懸、支、度、物、入、お、掛、
百姓、天、國、病、之、基、お、来、以、預、之、以、天、村、役、人、在、勿、論、去、
之、若、天、災、了、お、制、答、之、生、義、不、届、之、以、苗、所、
上、之、も、於、之、涉、災、事、以、来、陸、之、以、苗、所、之、而、之、も、皆、候、約、お

中、は、所、立、之、共、大、前、来、之、在、之、七、流、多、不、お、届、義、且、換、以、名、之、
在、生、力、森、修、之、人、有、之、以、舟、所、内、村、内、在、不、お、制、若、有、之、成、
お、交、不、届、之、以、之、以、来、之、力、及、不、中、之、以、災、事、お、寄、之、根、
不、扱、以、方、去、申、年、也、信、生、之、義、も、有、之、以、此、等、困、お、之、以、共、
有、之、以、今、以、風、信、不、お、直、以、根、お、寄、不、届、之、以、之、
一、盗、物、未、出、穿、數、之、上、持、之、以、お、物、お、預、之、以、来、指、布、之、以、讓、
物、之、以、天、出、上、之、来、以、今、以、持、傳、所、之、共、有、之、以、度、お、掛、也、他、
之、方、之、お、取、以、天、指、布、お、預、之、以、之、以、来、之、以、來、之、以、指、
布、之、以、之、以、上、之、以、人、也、年、之、信、生、之、以、度、在、之、以、之、
太、之、以、之、不、お、用、際、在、お、取、以、之、以、お、之、以、之、苗、人、之、以、勿、論、名、之、村、役、
人、之、以、お、戒、度、之、以、前、事、之、以、根、天、之、以、度、取、事、以、中、之、以、信、生、之、以、之、
苗、之、以、也、お、寄、之、以、根、村、之、以、百姓、天、之、以、不、お、届、根、中、在、是、不、お、利、以、共、

有るは急度下りて

未十月

寛政三年

足

所在、若天降、形内、性来、故、其、情、矣、も、か、あ、る、の、故、言、の、ま、き、
以、是、乃、く、お、見、不、法、法、之、辨、有、之、上、也、形、内、而、已、不、改、性、来、
能、善、を、立、ち、し、情、中、に、對、し、形、遠、に、柳、花、廓、先、に、お、ま、り、若、天、也、
不、礼、之、辨、有、之、乃、有、故、矣、已、安、永、年、中、も、急、度、也、事、下、有、
之、心、不、お、ま、り、不、法、之、若、多、有、之、以、年、竟、所、在、役、人、大、中、乃、方、字、
困、成、く、お、見、不、届、に、急、度、一、是、字、數、之、以、乃、天、先、付、度、之、用、檢、
乃、所、在、役、人、大、中、池、以、人、之、利、不、以、中、合、之、極、也、乃、計、乃、下、
乃、西、月

享和元酉年

大目付

情、其、之、義、度、一、也、情、其、極、也、乃、之、以、在、亦、極、也、今、以、不、お、ま、り、
お、ま、り、不、届、之、乃、之、以、情、之、乃、不、法、之、所、在、乃、以、之、若、天、也、
形、内、之、乃、形、内、情、其、打、之、若、天、乃、台、捕、之、乃、之、以、右、也、若、天、
亦、以、其、之、乃、乃、之、以、也、代、乃、情、之、地、以、之、字、用、も、お、ま、り、乃、生、亦、
亦、之、乃、乃、乃、乃、乃、乃、乃、乃、乃、乃、乃、乃、乃、乃、乃、乃、乃、乃、
乃、乃、乃、乃、乃、乃、乃、乃、乃、乃、乃、乃、乃、乃、乃、乃、乃、乃、
若、も、以、之、若、天、情、之、乃、乃、乃、乃、乃、乃、乃、乃、乃、乃、乃、乃、
之、乃、乃、乃、乃、乃、乃、乃、乃、乃、乃、乃、乃、乃、乃、乃、乃、乃、乃、
太、之、乃、乃、乃、乃、乃、乃、乃、乃、乃、乃、乃、乃、乃、乃、乃、乃、乃、乃、

六月

太之延候 以後 任出方之役生息所立上其一事下

乙七月

形代中

町奉行中

形代中

享和二年

一 此度以後之制は 任出之付在之延候之上中事なり

称宣 山伏

太之延候平日は布木綿之類は法會未之初は他致進出免

と來は浪を以年引引可也 太日引之役進出免

醫師

太本官郡山小浪之在り法度万并 以後役人中止有

有之り之月平日は單相續之進出免重立之役是故

他進出免之來は之れ之に医沙を布木綿之類是利不

由事なり

一 在方若修之風俗は未及困窮は之付由事の中は在事者

兼此際古き形代中 在事列候之由事なり之り水くは取大取斗

左之り也

清達書

一 婚姻之儀は法道共振舞小引之考より親也 溺り方上之

際、未年終之清皮は新也力なり且之り之由事なり多民ハ

智、嫁取所亦も由事なり振舞之儀は之り之由事なり

此の村役人有此合大考、お戒り之り不お利之り之り

此制止之氣之没収又々各一戸年
一町在老後之風俗不亦其辰年竟中身方疎略在
以方之末心之身也勤振所事以代安ト由事書出
一町在没人有能之由事之振之身也其生身其末と元と
百姓夫ト一戸會方

法信從

一百姓不似合分分之在彼亦其判以方只中村振之由市中
川肆トト身

一武士在力能之其分分之其後之振以若身有交了らるる
此身目之し力之在中有能之能之身多分其群之其合之不
亦身也

一有能之其在同実其分其折之町在事以中其法中
此公使其信約毎之身町在之若ト法之為身方其一也

親代達書

一町在没人有能之由事目不亦用公事之其彼以長出有方太
伴之若々歳表由各トト身之其末を其ト示ト計七重
其若方其以法也 信出法トト身

一婚姻之其由制禁不亦判若々由事之在没収又々由各トト
トト身之其又一而人ト身之其自其之其トト身トト身

享和元年

見

寛政六宮年辰 公儀情費之其歳表其制之振 信目
八辰年辰 所家也右之身之身由事其力之其度之由事

中江結之石年を信体と云は侍中は百七と申すは只自の方より
者後之と判りしより信体又は別体と云は侍中

に儀 信出の方先右一通して通中は信出又右に通中は信出

夫は信出計て有りて信出の信出と申すは信出の信出と申すは

換法書たに信出の信出と申すは信出の信出と申すは

一に度長 信出の信出と申すは信出の信出と申すは

信出の信出と申すは信出の信出と申すは信出の信出と申すは

信出の信出と申すは信出の信出と申すは信出の信出と申すは

信出の信出と申すは信出の信出と申すは信出の信出と申すは

信出の信出と申すは信出の信出と申すは信出の信出と申すは

信出の信出と申すは信出の信出と申すは信出の信出と申すは

信出の信出と申すは信出の信出と申すは信出の信出と申すは

信出の信出と申すは信出の信出と申すは信出の信出と申すは

信出の信出と申すは信出の信出と申すは信出の信出と申すは

信出の信出と申すは信出の信出と申すは信出の信出と申すは

信出の信出と申すは信出の信出と申すは信出の信出と申すは

信出の信出と申すは信出の信出と申すは信出の信出と申すは

信出の信出と申すは信出の信出と申すは信出の信出と申すは

信出の信出と申すは信出の信出と申すは信出の信出と申すは

信出の信出と申すは信出の信出と申すは信出の信出と申すは

信出の信出と申すは信出の信出と申すは信出の信出と申すは

信出の信出と申すは信出の信出と申すは信出の信出と申すは

信出の信出と申すは信出の信出と申すは信出の信出と申すは

信出の信出と申すは信出の信出と申すは信出の信出と申すは

信出の信出と申すは信出の信出と申すは信出の信出と申すは

信出の信出と申すは信出の信出と申すは信出の信出と申すは

信出の信出と申すは信出の信出と申すは信出の信出と申すは

本所にて長石山より本村初之村方より吾人為長持直達
 好徳生共組合申一石運之申出之積下申生申
 一今申之内古社或も局敷裏申之賤的申併共有力申租申
 其門之申村役人并物式比稱譽共有力申新申或有力申冬
 他領分弓廣高人本村之佃佃併共有力申或有力申或有力申
 下仕者言一此上申之賤積及不仕之積申之申校度申解申
 早壳村役人大申新所取申制之申之申勿海申申之申申
 好申申之積風信流申之申之申角申之申之申申申申
 日積申之計申之申

但村方より申之物申之揚申或吹矢的申申併之賤
 之積及有力申之申之申之申之申之申之申之申之申
 右之申之自分方より右之積申之仕法申之合申之申之申之申

等一時代申中より申之支配下名之在一日漢方申之抄申之申之申十代申
 申抄以後一及抄圖下

五八月

抄書

十代申中

享和元四年

見

一材上申後之申之抄制札之申之申之申之申之申之申之申之申
 初材一百姓申之抄制札之申之申之申之申之申之申之申之申
 材之申抄制札之申之申之申之申之申之申之申之申之申
 一向之申申之申之申之申之申之申之申之申之申之申
 以漢砲制札後切上建申之申之申之申之申之申之申之申之申

概おん方々ありて早業重き、清制礼未等用、改定、
おん材方制止も不存、概おん他名も何れ、
在んて、
亦一向、不おん概制礼、
斗

西十月

新代

享和元酉年

大目付

物変、
社又々、
己未、

仕立、
以て、
古社、
以若、
未、
も一、
不、

十一月

太、
夫、

西十二月

大目分中

右之五申書之右所立下之共之申之根之存分

形代中

河存分中

形存分中

享和二年

是

出之役人中池走方發及交在百發の役人中非我之節
有之申之立之申之所出之申

一河立之若天貸金未済の立申中之若名題之役併促申
仕万發の申

附借法の若天形月之通不及進持申申定之申之利
貸借法の若天形月之通不及進持申申定之申之利

一若之方簿物之稱持持之須布之於改而持之若之是以急度一
莫拂の他領方之於之若之若之仕万發の申

附賣買物之格別之申

右之通之役立之若天の立之申之申書之申

戌之月

形代中

河存分中

形存分中

文化二年

文化二五年

光

山陽中ノ市ノ為穀生大川南ノ所出ノ良田向礼方ノ物事下
 波者之也義之良田向礼遠ノ族ノ方ニ成ノ也又方方者子ノ
 也物度ニ田向礼ノ方ニ穀生ノ出ノ共難ニ成ノ事ノ生事
 立礼ノ山向礼ノ方ニ穀生ノ出ノ共難ニ成ノ事ノ生事
 右ノ是ノ生事ニ云ノ也中ノ市ノ也ノ是ノ生事ノ下ノ

大月廿中

太ノ是ノ市ニ去ノ所立ノ者其ノ内穀生ノ出ノ若方ノ由事又
 何人ノ所立ノ也波穀生ノ義ニ波世ノ物ノ也其事不立ノ也
 一乃心向遠ノ云ノ也中ノ市ノ也其事不立ノ也

丑十月

那代中

何事那中

那代那中

文化二五年

光

止來大川南ノ所人百姓天波穀生ノ共穀多者其良田ノ内
 高貴ノ業も打捨ルノ事ノ穀生ノ也。右ノ是ノ并ノ事アリ又
 亦ノ不來ノ事ノ良田ノ事度也礼ノ方ノ事ノ良田ノ事度也
 用捨各方進在ノ是及也其ノ業能ク也思ノ事ノ上田石斗ノ力
 一市人又ノ病方ノ農業市進也其不來或也其波世ノ事ノ
 漢獵ホノ生事度也其事物多物多ニ其何天穀生ノ出ノ事
 其ノ事ノ業ノ一停ノ其事ノ事ノ良田ノ事ノ良田ノ事ノ良田ノ事

遠く若くも多岐成、お方了は去年申が本宮出陣下敷くお積
大火有るに年竟天道神佛の業を戒り給ふ所、生
命を勤、此役人を肝に汲一曰恐入るに命候を承り物
を大業を流りて守り給ふと當然申す、今も昔も天候を
才困窮、及び子孫継承、迫り人々、足さざるに、お積は
あまた、生才、取て、え、是、借せ、と、也、海、に、歎、か、と、い、ま、る、り、
保家業、柄、より、所、果、毛、を、伸、り、又、と、高、貴、を、用、り、為、地、而、對、
是、彼、も、改、り、と、教、を、無、品、に、為、さ、れ、と、生、才、に、能、を、計、り、
流、り、と、い、ま、る、り、お、方、が、作、り、上、り、に、は、仁、出、表、者、に、
実、を、お、き、お、方、に、之、伸、り、信、約、を、元、に、改、り、家、業、に、働、不、忘、親、
對、此、合、お、互、に、心、を、合、と、力、性、を、お、も、お、き、お、方、を、與、り、此、中、に、
伸、り、と、也、本、困、窮、に、若、く、追、り、為、上、に、申、す、一、日、一、上、に、申、す、

立、佛、國、恩、と、一、お、報、り、人、を、勵、む、由、に、在、り、は、天、道、も、背、り、
以、法、に、た、る、に、未、水、に、繁、昌、を、願、き、と、親、あ、る、由、に、
お、方、に、度、能、く、小、業、を、若、く、申、す、倫、道、に、同、義、お、申、す、也、
振、興、お、申、す、に、振、設、ら、る、に、申、す、也、申、す、也、
訪、在、出、所、在、男、女、に、内、に、も、心、信、止、り、お、方、に、若、く、申、す、
お、方、に、申、す、一、通、り、申、す、り、而、も、お、方、に、申、す、
お、方、に、申、す、若、く、申、す、お、方、に、申、す、倫、道、を、振、興、せ、
お、方、に、申、す、振、一、設、り、と

卯九月二十

所、事、の、由、代、受、の、件、に、計、り、次、り

先、事、の、業、行、入、由、境、に、所、在、に、倫、道、を、振、興、せ、る、に、所、年、申、す、

事... 此制... 一向... 能... 此... 一... 子... 於... 卯九月二日

文化六年

大目付

今年浪人ありて村に百姓を...

此... 合... 太... 此... 止... 一... 中... 不... 下... 太...

村々合言札切或も村役人甚多杯と法重下り
右之通後 公儀此 信守方之儀之通所在也
官所法重之儀之度下り

己丑月

形代中

所事抄中

形代抄中

是

法重人有所在也 未合方之儀之通所安永之午年別紙通
公儀内解連方之甚良一統中連之通也 又信人辨之
共出領内政徘徊合方之儀之通所安永之午年別紙通

是之形代中 在粗末方之儀之通所安永之午年別紙通
中不不法之粗末方之儀之通所安永之午年別紙通
公儀内解連方之甚良一統中連之通也 又信人辨之
共出領内政徘徊合方之儀之通所安永之午年別紙通
公儀内解連方之甚良一統中連之通也 又信人辨之
共出領内政徘徊合方之儀之通所安永之午年別紙通

己丑月

形代中

所事抄中

形代抄中

村之法信人波徘徊追々意亦中至る者其方々并別紙之通
涉多老中より出達書以後と米の太山達書より出達書村役
人太山波安永年中出福之通各々定下

公儀出福達之振急度法出至石并の振一より中并

一安積三郎本官權原組出代其不絶材也也一右之振子
出代一右より太山五組材本官郡山足将并見也其時村
より出抄出太山不注其方々其抄押振返日より中注
出石并より中并

一地由代安永文記是又由代出抄出出代不注其方々
立之者より振急度捕より其抄出山城下見也其方
又時抄出より其方々其抄出山城下見也其方
太山五組材出代一月より中注夫出石并より中并

己卯月

那音那

那代

文化末年

於村之賭の本村より安永其意其連其者より其意其連其者
の書好い若し方々其意其連其者より其意其連其者其意其連其者
其意其連其者其意其連其者其意其連其者其意其連其者其意其連其者
其意其連其者其意其連其者其意其連其者其意其連其者其意其連其者
其意其連其者其意其連其者其意其連其者其意其連其者其意其連其者

未閏二月

小野十右衛門

堀 次郎右衛門

文化八年

一文化四年山侯約出達出再達三付畧其未又左記不
太山五組材年中中前其意其連其者其意其連其者其意其連其者其意其連其者

式に於ては此度改に嚴發也餘約也 位坐
殿様御下許を初法而格辰清有暇此來也家中熱信申
妻子也一統に紛後取用也長月八朔小言も麻継法改有
音位贈答も長も一切取止病用又も言授月候未も長合も長
格辰清有未格出も長長信止候も格也 位出も所在も
追も一及方も乘も生方も分法も有算加も程も長并も
中論も預能も初候而も家業出格致も初も無書
と心正も振丈も一も連一も有も下

未六月

那代
那身事

文化八年

は度嚴發也餘約也平日也家中綿被也 位出も所在も

共太も心候も不致合も言も振先も及也事也心医沙大連も另の中
為候も不致合も言も振也又那山本宮小侯も心医沙大連
二筆も一信も後总用も長先年格免も言も格先前も又も心
之も心候も改も振も下連も力も心下

未八月

那身事

文化九年

大目付

浪人辨も共村も言も排徊合力止石も乞或も悪口難題申
を也又も旅僧修験藝女座以也黄も内も押も石も不
也も心候も改も不も釋も非人も為捕も生向も心
この振安永三年也願も心正も朱帶も改も心浪人辨も共

不々ト大勝兵城村方より、難及々難及々原東方より、米石并
其於古城を以て移転候事、其の家多陣屋役而、下爲立
不移所目捕方より、其持出若地又死地候事、立退り候事、延
あつた形、移転候事、互浪人、不存、近根石捕一、下候

申六月

太之進候 以儀也 信出方より、信生云、右より、其持方より、
其の所より、根石在、下より、福捕方より、其、又、一、石計、下

申七月

那代中

河津中

那在中

当一、付、及、由、福、達、之、振、り、村、役、人、役、完、又、其、於、合、立、場、中、
子、信、生、云、振、り、下、連、一、延、有、下

別紙之進候 以儀也 信出方より、信生云、右より、其持方より、
其の所より、根石在、下より、福捕方より、其、又、一、石計、下
信出方より、信生云、右より、其持方より、其の所より、根石在、
下より、福捕方より、其、又、一、石計、下
信出方より、信生云、右より、其持方より、其の所より、根石在、
下より、福捕方より、其、又、一、石計、下
信出方より、信生云、右より、其持方より、其の所より、根石在、
下より、福捕方より、其、又、一、石計、下

那在中

文化九甲年

光

町立之若古祭礼、其、年、日、酒、造、音、物、未、も、其、用、以、振

粗末女の子は急之由信止之上安永年中此年方は
不右之次才年竟捨り各々小役人古改方等困る可奔
以義一おんはは後心は舟右折之共捨り之も是達下立
振方於おんは役人古近城度之下舟之り
太之色は是所立役人古下急度と下舟之る根之
山石斗下舟之り

九月

那代

町奉行中

那奉行中

文化十四年

是

一 聾并振石縁令之西流之其外本街五及帯地是筋蒲園一
町取一方之出下下り

一 但困窮者古之是下も出来急下り大は方改減略
義古お流次才之り且又月賣お之共之聾振

一 町取或之再縁之共縁令多少之は時宜随以下
婚姻之是兄弟叔父母并仲人組合隣家之共流之

一 但贈方之義古是古由制条之是一汁二菜酒古者二粒
之り之り及是未出合之義古是利之り

一 惣之後儀お方之出令之古親子兄弟叔父母聾男之流下
一 不幸之良棺拵不締之義由制之相拵之改一其外燒電

一 天蓋亦方分不度義仕月爰お之締之義お止万之り
下付之り

他日拜表紙の共々白木出中方敷は花引立杯の留記
縁共清月合表紙は笑作万敷

一 既送るる原書各方表紙の共々表紙合人合中でお波はか
白合本振白表紙止り

一 既送波女表紙の上白湯衣引張は義上青波下り
但取上白木漆より拭被り上は波下り

一 婚姻の義配苗子系は中の方敷は若山寺のケ布表紙は
いそし生辰下り

一 表 宮井湯殿山末清の表表内若山寺伯叔父母兄弟才聲
男は流し少々の京波持本は極多し生か去産物お下り

一 去年最茂は債約は表紙は舟在の方子し別は債妻は
方子の天多又吉山木の表表入少波は極先達の中は名は

存多しとも表紙は表表極中出もは中表は方け末枝
人表を是し一波刺は名は流し出候の上枝は小表は若止

終る香は良波一は流し出は下り終る下り
五月

文化十戌年

笑

所在の若天信中上對は言礼は極多し付多しは是れ
凡俗お流しは言礼は若天も方極粗表は若山寺の方敷は
山川叙生は若波は若天も方極粗表は若山寺の方敷は
不届は少くは急度方持表候丈は家業は励は信中
言礼は極は若天若天若天急度答下り

太之近之終生之所至之若夫也又之忌夜三月下

成十二月

郡代中

町奉行中

郡奉行中

文化二年

一村方年若之若夫棒又之劍術亦不似合藝術其方也其村
役人方制方等用方之等之若夫方之其年忌夜制之若夫
其又也其方若止之若夫其方之若夫

亥三月

文化十三年

大目付也

情斐然之法務有若之方由法度之類度之
其家之生所之若夫若夫嚴嚴其下其勿薄之若夫一統其
池之根若夫之既之先若夫若夫之若夫之若夫之若夫之
之若夫入之情斐然若夫若夫之若夫之若夫之若夫之若夫之
討道之若夫若夫之若夫之若夫之若夫之若夫之若夫之若夫之
依之寛政日子年若夫若夫若夫若夫若夫若夫若夫若夫若夫若夫
中若夫若夫若夫若夫若夫若夫若夫若夫若夫若夫若夫若夫若夫
其若夫若夫若夫若夫若夫若夫若夫若夫若夫若夫若夫若夫若夫
太之近之終生之所至之若夫也又之忌夜三月下

子二月

右之通候 公儀此 任出方之役生之由中一為一其之近
心之根下下下下下

大目付中

文化十三年

大目付中

惜更之義生來難辨池之由事不地之り右儀之所存
火舟盜賊及此之若繁くお出り惜更之勿海強留未紛
法捕取子嚴發之宗數之右捕根一中候の所取之勿海
厚發之り之踏込右捕は義之方之儀之存治之云
池以爲改右辨之若之早速捕置了り之右若等困成
於方之之主人又之町役人亦之爲之云

右之通一之右儀

十二月

右之通候 公儀此 任出方之役生之由中一為一其之近
根例之通一之右儀

子十二月

初代中

所存中

初代中

文政二年

十代官

山内村、及困窮衰弊、材方も有、一辨之來在方

災扑之風情く自然と衰修と多し農業の勵怠の情弱く
古來迄く格別之由は尚も不明なり格も忠實生育並大
く少く苗は之れ之れは猶も不見流し如く捨れ其未だ未だ
波増長とる不有悔美之也 思石村教諭引立方より
郡代郡奉行の自分方上出村に 任付る方子怪波北正
之休る年中不怠不憚る村端へ進らねば勤農孝貞
教方首要取正之亂方百姓之信不換根法の中係切実云
と元として材役人と初百姓天の御方ホ之義法とる令村方
引立る根一之形計自立く之形状波引波見奉歸時便具は終
法も力く其之役難談之上に中立且自分方出村に其
又配下ら取上出村の由利透る初不憚之支配下出村に波

卯九月

此夜の自分方兼代波申の村端へ進不憚る由出村教諭引
立る根厚 思石の志也 任付る上出村に舟借る事仕
生弁立方費用有る根も出村に信も言くは方神も立
方之費用と有る根太入用亦之少く苗も之れより自分方
生る故波て來支も種出村に波は言任出長兼申連
直る由は信立方之若天年以も信く波は遠本出村并
年為名之由も亦之御池是て万蒙義兼音物小者之れも
太之由振之も亦之御制も亦皆之れより太根
之義波引波万蒙方立く若天の御遠云根之度ても中
行なり
太之由波引生定代波申の由生る波波支く一と解方下連下

卯九月

那代中

那代中

光

此等村及困窮衰弊之村方之者之村方教諭引之方
之為左之組之方之方年為名之方人其於台人方之方並生
若天村之端之打也之村役人上之於中淡之根之自之方之方
之通之之之合之之之方之方年為名之方人上之方人扶持之
今之方之方人亦亦撰之之方之方之方之方之方之方之方

卯九月

那代中

那代中

一 安積三組

一 本宮 五組

一 小湊 五組

一 西安達三組

此度出外村之引之方之方也村也 恒引引引引引引引引
右之方之方之方之方之方之方之方之方之方之方之方之方
命

一 此村之方之方之方之方之方之方之方之方之方之方之方
政止而方之方之方之方之方之方之方之方之方之方之方
不及之方之方之方之方之方之方之方之方之方之方之方

他贈之義者一汁一菜之介持出中万歳也

一上五拾又 一上五拾又

但重なり宜年苗近一公是也

一太出村之良村之役人天孫出不及以保持出是也出は義者
了者もいなり

一庄屋名をたし門年苗中付立て為事也、乃村之役人天孫隔
意熟談面村古の地方能く中合門立て振一評、苗年
末、辰辛年古の若天七年苗中付なり

安積三郎年苗

苗田村庄屋

矢吹菅原

松海村庄屋

竹友新之集

本室権源五郎年苗

小濱汁道五郎年苗

菅原村庄屋

武友源氏

西安達三郎年苗

喜屋部庄屋

吉田安右

一太出村波の義百村夫と申し合言する様名をたし下中

申すなり

古の通り事ありしなり申す下

九月十九日

新吉原

那代

十代安中

形子行
代友

太山内村及因窮衰弊之村方も方も以て教諭に
立方一不付也此村は 何れも村事今年合式西元
太山村之良族管下形子行も是れも人少人少
代友少人少人少也

但本郡山代中も山代人難有以て貸法も
太山内村に云々也

卯九月
郡代中

文政三辰年

此度清和寺中山内村不付也村之本派山代中も方も以て
而清和寺の中も方も以て山代中も方も以て
一先清和寺長収有持出り方書面一人も以て定之貸法
在道に定之也

一 山代中

山代中

一人是寺人

山代中

一村之先排未指出不及以信存之但以所合の良村境迄
一 山代中

一止宿之憂を存之宅不沈却名若受坊而分を不苦之り
一旅の電機在之通てお拂り

一 志向 上式百々

仙田五空年苗在

一日 下百在

仙田月形

一 贈之儀と存之りて有合之りて宜敷り方魚為不取願
持出申再敷

一 志汗二葉 上

一 志汗三葉 下

一村役人有勿海百姓天所之取之在吉物未受之儀之り
右之通之り申之り配下村之り又之り申之り

辰二月廿日

小野十右衛門
平崎孫左衛門

文政三辰年

光

山中村、百姓大連年及窮困に舟出立由修治追之此
位由一神百姓天感棄之儀之り初小役人有之り取扱方
之り七依り仍其村方風義書流名之り小役人有之り其実之
取扱方之り自之り經營之基と一村方取扱不宣其力有
之り振振申不届之り之り依り之り上意度下之り仍其時度之
之り用捨之り其風義書取扱之り小役人有之り庭去実之り取扱方
取扱之り之り百姓天為其村方之り農之り取扱之り振振申之り
其要之り之り自之り經營未之り物之り不宣其風不取共其書之り

凡之上嚴重之各々下下
右之取之得生之材之各々下下
向後不足之風義不取共之各々下下

永十月

代官中

文政三辰年

元

此儉約年漲當年進之法是進等大之出物入有之
以後も出物入出物
以養指見出物之向大切之出物良之出物来已年分来而年々
五ヶ年之方是進之進出儉約法は物以の来右之出物は
万ヶ年不取池板生解之と下下進之方は
信出は儉之出物中

而も万端儉約之方も費之者有之續精勤一法義行要之
且右後飲食方信賜之之教也嚴法比制抽之来は
妻方之享和三年

佛先代様法 信出之佛制系は出物之佛後法用は
佛之次進之法重立之各々下下
汝神之方大奉之方後義之各々下下
信出は万端出物

右之取之得生之材之各々下下
右之進之得生之材之各々下下

十二月

小所十右
羽本控前

文政四巳年

光

一 言是正

一人是七人

太古且那方不防物也村以古言其在出山官在之村也忠是可
新之古人有夫也定之貨淡也拂以万生也乃下之
一 泊之村之古有之遊旅也山掛之屋也

一 上老人

一 平七人

但聖皇年并南大

古之古言也定之介池是所及我之之根之所計之屋下

己二月廿二日

白三所古乃内

出口古古乃

村順

二本松 表江津村 表江津村

白 浪川村 吉倉村 米津村

白 沼代家村 白 下川崎村 白 合

白 上川崎村 白 合 白 若尾合乃 白 合

白 小津村

白 沖井村 白 合 白 下津田村

白 高城村 白 合 白 上津田村

白 白 白 白

文政四年

出候分村之古之林之屋之子供未也集区前下繩之注從來
之古古乃自貫法氏也古又古古之古古之古古之古古之古

無之概口事之者之下

十月廿九日

丹羽致右

下河邊庄右

文政五年

光

所至と若左侍中に對し之禮を概言す申並ふは耳風傳
者此ら之百百々々之禮も若くも有る如く事有る是れ申
侍中に對し此數内を不及申其外有之禮に及んぬ如く
物言ふもの多き之義を明す也

午三日月

那代中

町奉行中
那代中

文政六末年

光

情實之義を位 公儀度之状 位出可有之敬後申制並
義はこれ程に及んぬ其流於所至掃原ケ有後義申併に若くも有
る外之事も且是かゝる事も情實は概々掃原ケ有流於政に
概々并義不情は申す申平竟所至役人有制方不仍而義
申す不束之義に及んぬ其情實之勿論也之は以右并掃原
ケ有後義申併に若くも有る事曲申す申す申す所至役人有
此ら之事不流に及んぬ事制に及んぬ事義を申併に概

造之役人極意度答中并糸心以遠云々根下并下

未極月

那代中

河津中

那吉中

文政七年

文政六年

光

羽本槍花
伊東九之傳
小跡十右馬

小河道左馬

右方引立方以用掛也 佐舟不附也村も是近之也右に
人の上 佐舟生介も不附也村也免は東の方付辰申子
配下村も下中連下方より下

申八月十日

松井生本吉
竹中散右馬

子

Handwritten notes on the left page, including a large '5' at the top and various symbols and characters.

Handwritten notes on the right page, including a large '3' at the top and several lines of text, some of which are mirrored from the left page.

